

2023 年 12 月 31 日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒253 番（旧 281 番）

『われは日々登らん』

聖書⇒詩編 32:1~2、5 節（SK 兄）

『いかに幸いなことでしょう／背きを赦され、罪を覆っていただいた者は。
いかに幸いなことでしょう／主に咎を数えられず、心に欺きのない人は。』

わたしは罪をあなたに示し／咎を隠しませんでした。わたしは言いました／「主にわたしの背きを告白しよう」と。そのとき、あなたはわたしの罪と過ちを／赦してくださいました。』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 1:7 節

『わたしたちはこの御子において、その血によって贖われ、罪を赦されました。これは、神の豊かな恵みによるものです。』

（祈）

礼拝讃美歌⇒277 番（KH 兄）

『われらの讃美は』

《パン裂き》

聖書⇒マタイによる福音書 26:26~29 節（KH 兄）

『一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱えて、それを裂き、弟子たちに与えながら言われた。「取って食べなさい。これはわたしの体である。」また、杯を取り、感謝の祈りを唱え、彼らに渡して言われた。「皆、この杯から飲みなさい。これは、罪が赦されるように、多くの人のために流されるわたしの血、契約の血である。言うておくが、わたしの父の国であなたがたと共に新たに飲むその日まで、今後ぶ

どうの実から作ったものを飲むことは決してあるまい。』』

(式)

礼拝讃美歌⇒154 番 (旧 193 番)

『罪も咎も汚れもなき』

《建徳》

聖書⇒イザヤ書 40:1~5 節 (NH 兄)

『慰めよ、わたしの民を慰めよと／あなたたちの神は言われる。

エルサレムの心に語りかけ／彼女に呼びかけよ／苦役の時は今や満ち、彼女の咎は償われた、と。罪のすべてに倍する報いを／主の御手から受けた、と。

呼びかける声がある。主のために、荒れ野に道を備え／わたしたちの神のために、荒れ地に広い道を通せ。

谷はすべて身を起こし、山と丘は身を低くせよ。険しい道は平らに、狭い道は広い谷となれ。

主の栄光がこうして現れるのを／肉なる者は共に見る。主の口がこう宣言される。』

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 14:25 節

『心の内に隠していたことが明るみに出され、結局、ひれ伏して神を礼拝し、「まことに、神はあなたがたの内におられます」と皆の前で言い表すことになるでしょう。』

聖書⇒マタイによる福音書 3:3 節

『これは預言者イザヤによってこう言われている人である。「荒れ野で叫ぶ者の声がする。『主の道を整え、／その道筋をまっすぐにせよ。』』

聖書⇒マタイによる福音書 26:39 節

『少し進んで行って、うつ伏せになり、祈って言われた。「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに。』』

聖書⇒ヨハネによる福音書 19:30 節

『イエスは、このぶどう酒を受けると、「成し遂げられた」と言い、頭を垂れて息を引き取られた。』

聖書⇒ルカによる福音書 23:43 節

『するとイエスは、「はっきり言うておくが、あなたは今日わたしと一緒に樂園にいる」と言われた。』

聖書⇒マタイによる福音書 7:13 節

『「狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。』

聖書⇒ヘブライ人への手紙 9:22 節 (KH 兄)

『こうして、ほとんどすべてのものが、律法に従って血で清められており、血を流すことなしには罪の赦しはありえないのです。』

聖書⇒エレミヤ書 17:1~2 節

『ユダの罪は／心の板に、祭壇の角に／
鉄のペンで書きつけられ／ダイヤモンドのたがねで刻み込まれて
子孫に銘記させるものとなる。
それらは彼らの祭壇であり、アシェラ像である。
それらは、どの緑の木の下にも／高い丘、野の山の上にもある。』

聖書⇒レビ記 17:11 節

『生き物の命は血の中にあるからである。わたしが血をあなたたちに与えたのは、祭壇の上であなたたちの命の贖いの儀式をするためである。血はその中の命によって贖いをするのである。』

聖書⇒コリントの信徒への手紙二 13:13 節

『主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。』

礼拝讃美歌⇒449 番

『主の流された尊い血しお』

《建徳要旨》